

第7回「戦争と医の倫理」の検証を進める会・世話人会報告

- ◇日時 2010年11月28日(日)14時～17時
◇場所 全国保険医団体連合会 4階会議室
◇参加者 石川徹、塩安佳樹、西山勝夫各代表世話人、赤羽根巖、小俣和一郎、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、住江憲勇事務局長、飯塚譲、岡田朝志、刈田啓史郎、小松美彦、田中智彦、松村高夫、村林彰各世話人(事務局)相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、長瀬文雄、原文夫、室井正、小林耕治各氏

◇議長 塩安代表世話人

冒頭、湯浅謙世話人の逝去(2010.11.2:享年94歳)を悼み黙祷した。また、「追悼資料」として、「続・老兵の告白」より湯浅謙医師のインタビューを抜粋し配布した。

◇報告・協議事項

1. 前回会議報告の確認について

第6回世話人会(10.10.24)会議報告について確認した。

2. 前回世話人会以降の主な活動報告について

(1) 医学会総会学術展示「出展申込」の返答に関する対応について

当会からの医学会総会学術展示「出展申込」却下に対する大江和彦展示委員長との懇談要請についても、医学会側から応じられない旨の返答書が寄せられた。

このため、「学術展示『出展申込』却下に対する抗議と私たちの見解」を世話人会として確認し、第28回日本医学会総会会頭と展示委員会の委員全員への送付、及び、各報道機関にも見解を公表することとした。

(2) 各班の活動関連は、次議題の報告を参照

3. 当会独自企画案の具体化について

(1) A、B、C各班別の検討課題と具体化について

①A班(歴史検証)

*「医学教育に関するアンケート」の実施と今後の予定

- ・国内の医学部・医科大学への調査は、11月1日にアンケートを郵送した。11月30日締切で、11月24日現在、10大学より返答。締切日以降、未着の大学には「ご協力のお願ひ」(はがき)を送ることとした。

- ・ドイツへの調査準備では、前回調査結果のドイツ語訳をAndre Spindler氏(保団連事務局員の知人で日本政治史専攻のドイツ人研究者)の協力で完訳した。西山・吉中両氏の医学教育論文のドイツ語訳を市野川世話人、ドイツ各大学へのアンケートと送付状を池田世話人に依頼している。

- ・中国への調査準備については、訪日中の金成民・731部隊罪証陳列館館長に協力依頼の再確認を行った。

*展示会場の準備について

当会世話人・山田朗・明治大学教授と相談し、明治大学のアカデミーコモン1階の展示コーナー、及び同2階会議室の一部を使用できるよう、学内で検討していただけることとなった。当会からはパネル150枚、4/2～4/10の展示期間を希望している。

*パネル集作成原案(加害の史実、証拠隠滅、部隊員の戦後等)について

別冊で配布したパネル案の概要が報告された。特にパネルの内容とあわせて、前回展示した各項目の目次と対比し、展示項目で修正、追加、継承した内容が一目でわかるよう整理し、次回世話人会でさらに検討することとした。

*パネル展示全体のパネル枚数と構成、作成形式、作成日程、C班との調整など

展示枚数は、展示会場の規模により決まるので、次回世話人会までに詰める。その上で、作成形式は前回のテンプレートを継承する。全体の構成やC班との調整については、パネル原案の全体像をまとめた上で、今後の世話人会として検討することとした。

②B班 (国際シンポ)

*国際シンポジウムでの随時通訳、翻訳の見積もりについて

前回の確認に基づき、随時通訳(事前打合せ、当日通訳の2日間)の見積もりを「株式会社サイマリンガル」に依頼した。その結果、通訳は136,500円、翻訳料金は598,500円が提示された。通訳は契約することとし、翻訳は高額なため、世話人会の関係者で行うこととした。

*記録の方法(出版物、映像などと著作権)について

この間、小俣常任世話人、住江事務局長と事務局で、「クリエイティブ21」「青銅プロダクション」「尾関企画」と面談した概要が報告された。

- ・「クリエイティブ21」は、NHKの来年夏の特集番組として取材協力の要請のため、当会としてもできる限り協力していくこととした。
- ・映像について、映画は費用が高額でもあり現状では難しい。DVDでの作成については、市販できるような画質も想定しての費用見積もりなどを「尾関企画」と相談する。
- ・シンポジウムの出版については、岩波ブックレットとしてできるかどうか、岩波書店の担当者と相談する。パネル集の作成を含めて今後検討する。
- ・上記の記録に関しては、収録の対象者を含め著作権との関わりを整理する。

*「日独交流150周年」事業認定・ロゴマーク使用申請について

上記の内容をふまえ、ドイツ大使館に、当会の独自企画について「事業認定・ロゴマーク使用申請」を行うことを確認した。

③C班 (医療倫理)

*全体のパネル構成とC班の「医療倫理」の位置づけなどについて

責任者の山口常任世話人より、C班担当のパネル作成について、全体の位置づけやパネル枚数との関係を含めて、世話人会としての総論的な検討をしてほしいとの問題提起が行われた。また、小俣常任世話人からも、2011.4企画全体のイメージについて、A班(歴史検証)、B班(日独比較検証史)、C班(医療倫理)の相互関連に関する提案が行われた。

これらを受けて、8月の世話人会報告(討論部分の抜粋)も参考に意見交換が行われた。

*医療倫理に関する総論的な意見交換の概要について

当会が歴史の事実を検証する目的は、史実の検証から得た教訓を今後の医療倫理などに活かすことにある。そのような意味で、医療倫理の位置づけは重要である。その重要性を確認しつつも、現段階では、パネル展示の具体的な内容を基にした検討ができていないため、次回の世話人会でパネル内容の提案を受け、歴史検証との関連性や、現実の医療に対する評価など、パネル展示の内容について検討を行い、全体の合意のもとに対応することとした。

その中で、全体の展示項目の構成と枚数配分なども検討することとした。

4. 上記以外の活動課題について

西山代表世話人より、遺棄毒ガス被害者など中国人戦争犠牲者支援されている南典男弁護士を世話人とする提案があり了承した。また、ジャーナリストで731部隊・細菌戦資料センター代表の近藤昭二氏への世話人兼任の打診についても了承した。

5. その他

(1) 次回世話人会 2010年12月19日(日) 保団連会議室 11時~16時(以後懇親会~18時)

(2) 参考資料

731 記念館訪日団と民医連・保団連の交流会資料(731 部隊遺跡等の報告資料)

以上